
ねぇシスター！
今日はかくれんぼしてあそぼー！
だめだよ！
今日はおままごとするって
やくそくだもん！
はいはい、
順番ですよ～
その前に朝のお祈りを
しましょうね～
はーい！
あ
……
あっ、シスターさん
気づいてくれた……
今日もきれい
だなぁ……


こんなエロい身体しておいて何がシスターだこの淫乱娼婦め
……ッ！
……約束、どうか忘れないでくださいませ……
もちろん。この孤児院への支援は存分に果たすさ
……
それにしても、清純なシスターが裏でこんな事してると知ったら子供たちはどう思うかねぇ？
!!
だ、だめですっ！どうか…どうかあの子たちには……
男に抱かれた直後によく子供たちと接することができるな
あ……っ
言わないで……くださいませ……っ


発情した身体から漂うメスの香りに子供たちは気付いてるぞ
ククク……本当に素晴らしい
いや…ぁっ！
君のように〝敬虔〟で〝慈愛〟に満ちたシスターは中々いないよ
これからもたっぷり愛でてあげるらね
ビクッ
ビクッ
ビクッ


今日も綺麗だね
楽しみにしてるよ
あっ……
あ、あの、あまりあの子たちの前では……
俺は構わんぞ？
何なら子供を巻き込んでやっても――
そ、それだけはっ……！
それだけはお許しくださいませ……
ククク……冗談だよ
それじゃ行こうか
……はい


くふっ……
うぅ……んっ…
やはり何度抱いても飽きないよキミは
あ、ありがとう……ございます……
こんな寂れた孤児院で素晴らしい拾い物だよ
豊満な胸
キメ細かな肌
甘い香り
まるで男を喜ばせるために産まれてきたような女だ
わ、私は神に仕える身……
そんな事……あっん…っ


カミサマとやらも嘆いておられる
自分の信者が男に抱かれて甘い声を上げているようではなぁ！
……ッ！
どうした？膣がヒクついてるぞ？
これはっ……違うっ……違うんです…っ
ククク……
ふっ……ううあああぁっ……!!
……っはぁ！は……ぁっ！


その穢れた身体で
神に毎日祈る気持ちは？
いやあっ！
はあ
はあっ
言わないでっ……
言わないで
ください……


神よ……
どうか
お許し
ください……
あの子たちのため
なのです……っ


ふぅ
今日もご苦労様
すごく良かったよ
……っ
今回の〝お勤め〟は
終わったんですから
外ではあまり……
なんだ
つれないなぁ
まぁいいや
次も楽しみにしてるよ
ちなみに
今晩でもいいよね？
ククク……
……っ
そ、それは…っ！


あ、あの子たちが待ってますので……っ
なるほど、じゃあ早く済むように協力するんだな
ダンッ
おにっ
ビキ
ビキッ
ッあ……！
ズダッ
だめですっ…お祈りの前にこんなことっ……
ぐんっ
ククックッ……忘れたのか？
俺が求めたらいつでも身体を差し出すそれが契約だ
ビクッ
あっ
あっ
で、でもっ……
ぷるっ
くぅ…ふっ……
ふるっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ


俺はいつでも支援を止めたっていいんだぞ？
！
そ、それだけはっ…！どうかご勘弁を……
子供が路頭に迷うところなんて見たくないよなぁ
はぁっ
あっ
……っ
は……はい……っ
は！
ふぅっ


なら俺の言いつけは守るように
な？
はぁ
はぁ
はい……っ
ビクッ
ビクッ
ぐ……
ぐぅ……
あぁ……!!
ドクッ
ドクッ
ドクッ


本当にキミは可愛いな
これからも楽しませてもらうよ
はぁっ
へっ
あっ
ぐぐっ
ふぅ
ぴくっ
きゅん
はい……あなた様の思うままに……
じわぁ……


なかなか良い腰使いじゃないか
はいっ…
ありがとう……ございます……っ
あ、
はぁ、
これ、だめ……っ♥
気持ちいいところ当たって……腰が…勝手に……っ♥
絶対に気付かれちゃダメ……
こんな……男の人に跨って、気持ち良くなっちゃってるなんて…♥
たんっ
ぶるんっ
ぐりゅ
きゃん♥
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ


ふぅっ……
ふぅっ……
ちょっと
弱めないと
このままじゃ
イっちゃう……
どうした？
動きが緩慢になったぞ
はっ
はっ
い、いえ
そんなことは…
ぶるる
ぶるる
ぶっ
ぶっ
……へぇ
ニヤァ…


ひあっ……！
い、いきなり…
そんなっ…んあああっ！
嘘をついた仕置きだ
ひっ……ぐぅっ…
お、お許し…
くださいませ……
ダメだ
あっ！
あっあっ!!
あんっ!!
い……く…
ううううっ!!
～～～っ!!
っく…ふ……うっ
ぶーっ
ぶーっ


主人そっちのけで勝手にイくなんて、躾がまだ足りないみたいだな
…あっ……も、申し訳ございません……ご主人様…ううっ……
次は無いからな
はいっ……
っあっ……
あぁぁあ‼


こんなだらしない格好
子供たちが見たら幻滅するぞ？
は……ぁっ……
っ……はぁっ……
聞いちゃいないかw
はっ
はっ
はっ
まぁいいけどな。
それならそれで
勝手にヤらせて
もらうだけだ
もちろんこれで
終わりだなんて
思ってないよな？
……っ
ううっ……


はあぁっんっ！
ふぅ…っ！
まだいい反応が
できるじゃないか
やっ……
だめ…ですっ
何がダメだって？
舌が入ってくる……
んぐっ……ふぅっ
…んーーーっ
お酒のにおい……
んちゅっ…
れろ……
やだ……
気持ちい…っ
キス……
頭とろけ
ちゃいそう…


ふぅ……っ
んあ……ッ！
上も下も全部
気持ち良くってっ……
イ…くっ……
っん……ッ！
あ
は
はっ


はぁっ…
はぁ…っ
今日もご苦労
ご褒美に少しだけ
上乗せしておくよ
ん…♥
ところで相談なんだが
……！
まだこんなに
大きいなんて……
ガシッ
ギンッ
ギンッ
ぐぐ…♥
ぐぐ…♥
っあ……
ありがとう……
ございま…すっ……
……
……はい
ご主人様の……
お望みの…ままに……


それにしても
今日はいつもより
良い声で鳴くじゃないか
そ、そんなこと……
ありません…っ
はーっ♥
はーっ♥
声出さないように……
しなきゃっ……
でも…だめ……
声、出ちゃうっ……♥
あっ……く…ふぅっ……♥
きゅんっ♥
これはお勤めなのに…っ♥
気持ち良くなっちゃ……っ♥
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
ぴゅっ
ぐぐっ
クリ
クリ
ビクンビクン♥
ずっ
ずっ
ずっ


やっと聖職者の仮面が剥がれてきたな
いやっ…ああっ……んっ♥
俺の前では偽らなくていいんだぞ
ち、ちが……っわたしはっ…♥
いやいや、子供たちを騙して上手くやってるよキミはw
実際、憧れのシスター様が姦淫に耽ってるなんて想像もしてないだろうさ
そんなっ！わたしは……騙してなんてっ…♥


男に抱かれた身体で子供たちと接する背徳感は
さぞかし甘美だろうなぁ
いやあっ…♥言わないで…♥
はーっ♥
言わないでくださいませ……っ♥
ほら、お望みの物をくれてやる！
……っあ♥
はっ……♥あぁあぁ……っ♥
きゅうぅん♥


……っふ……ぅ
……ぁ……っ♥
どうだ？
自覚できたか？
ぐぐっ
「は♥
はぁ♥
はぁ♥
お勤めなのに…
何度もイって
しまうなんて……♥
……っ♥
ぐぐっ
ぐぐっ
ビクンッ♥
やはり私は……
……私は、淫らな女で、
ございます……っ♥
ガク
ガク


お、お願いします……
今日も…どうかお慈悲を
ククク……
まだ足りんなぁ
えっ……？
どうしてほしいんだ？
具体的に言え
そ、そんなことっ！
私には…言えません……
言わないなんて、
それが通るとでも
思ってるのか？
……っ
わ、私のおま…んこ……に、
ご主人様の、お、おちんちん……を、
どうか挿れてくださいませ……
さあ
……
もじ
もじ…


よくできました
あっ……
じゃあ始めようか
あうっ！
ほら、次は？
……〜〜〜っ
そ、そのままっ……私のナカを…かきまぜて……っ
はあんっ！
あ……くぅっ…♥
ほら、次はどうするんだ？
んあっ……ま、待って、くださ……っ
ククク……
だめだ
く……ふぅっ♥


口に出すと意識しちゃう……
繋がってるところ……っ、いっぱい掻き混ぜられて……っ
おく…奥もっと突いてっ……突いてくださ…っ♥
ズッズッズッ
ひっ…♥
きた……っ♥奥っ♥ごりごりって♥私の気持ちいいトコ…っ♥
あーーっ♥ああーーーっ♥
パンパンパンパン
ガクン♥
そ、そのままっ♥奥にっ♥びゅーってしてしてくださいっ……♥
ドクンドクンドクン
あぁ～～～～っ!!♥
ビクンビクン
ぶるっ
ガクガク♥


はあっ……
はあっ……
なかなかな
乱れっぷりだったぞ
んっ…♥
……ッあ♥
このようなこと…は、
もうご勘弁を……
……
ククク……
私が私じゃ
なかったみたい…
男の人のモノを
自分でおねだり
なんかして……
ぺたん…
神よ……どうか
お許しください…っ


さ、今日も〝お勤め〟をしてもらおうか
……はい
ん…ふっ
ご主人様のモノ…おっきい……
沐浴で見たあの子たちのと……全然違う
……！
い、いけない……私なに考えてるの…
は、
はっ
今はこのお勤めに集中しなきゃ


ククッ……今日はまた熱心にご奉仕してくれるじゃないか
……っ
ククク……そうやってるのを見るとまるで神に祈ってるみたいだな
……ッ！
……
いけない……こんな挑発に乗っては…
ん？
一晩会えなかっただけでそんなに寂しかったか？
ふー……っ


ん……んんっ！
息…苦しい……っ
しっかりと
刻み込んでやるからな
ふ……う…うっ！

んぶっ……！
神に祈ってる時
毎朝毎晩
今日のことを思い出せ
男のモノを
しゃぶってる
自分の姿をな


ドクン
んぐっ……
っ……ぅ
鼻の奥まで
精液の匂いが
こびりついて……
頭の中全部……
ご主人様のニオイが
漂ってるみたい
よしよし
良い子だ
しっかり
舐め取るんだぞ
……ぁ
ご主人様の……
まだこんなに元気…
あ……
だめだ……
ワタシ……
欲しがってる…っ
ご主人様に滅茶苦茶に
されたがってるっ……


さ、今日も〝お勤め〟をしてもらおうか
……はい
ん…ふっ
ご主人様のモノ…おっきい……
沐浴で見たあの子たちのと……全然違う
……！
い、いけない……私なに考えてるの…
は、
はっ
今はこのお勤めに集中しなきゃ


ククッ……今日はまた熱心にご奉仕してくれるじゃないか
……っ
ククク……そうやってるのを見るとまるで神に祈ってるみたいだな
……ッ！
……
いけない……こんな挑発に乗っては…
ん？
一晩会えなかっただけでそんなに寂しかったか？
ふー……っ


ん……んんっ！
息…苦しい……っ
しっかりと
刻み込んでやるからな
ふ……う…うっ！

んぶっ……！
神に祈ってる時
毎朝毎晩
今日のことを思い出せ
男のモノを
しゃぶってる
自分の姿をな


ドクン
んぐっ……
っ……ぅ
鼻の奥まで
精液の匂いが
こびりついて……
頭の中全部……
ご主人様のニオイが
漂ってるみたい
よしよし
良い子だ
しっかり
舐め取るんだぞ
……ぁ
ご主人様の……
まだこんなに元気…
あ……
だめだ……
ワタシ……
欲しがってる…っ
ご主人様に滅茶苦茶に
されたがってるっ……


ククク……ッ
今日はいつになく積極的だな
あ……くっ…
そ、そういうわけでは……ふ……あああっ！
くる……っ
ご主人様の……
私のナカ……かき分けて…っ
……ッああっ！


ふーっ…
ふー……っ
入っただけなのに…
軽くイっちゃった……
ん？
何を休んでるんだ
まだ始まったばかりだろ
も、申し訳ございません
少しだけ、このまま……
どうか…
ぶるぶる
さわ…
だめだ
あうっ！
ひっ…あ……だめえっ……
まだイったばかりなんですっ
知ってるさ
そんなことw
バチュンッ
ビクッ
ビクビク
ゲッ
パンパンパン
あっ！
ひっ！
ぶるぶる
やだっ……
気持ちいいの……
止まらない……っ
パンパンパン


本当にお前は可愛らしいな
……?!
ゴン
ズッ
ズッ
ズッ
グイッ
思ったとおりに反応してくれる
俺の可愛い人形だ
ズッ
ズッ
いつまでも俺のそばに居ろ
じっ…
……!
いつも私を嘲笑ったり貶すような言葉ばかりだったのに……
ガシッ
はぁ
どうして…
はぁ
さっきすごく真剣な顔してた……
とくん…


んんっ！
ふぅっ…！
だめ……
こんなの……ただの
気紛れだって
分かってるのに
どうせ明日にはまた、
性処理の道具としてしか
見てもらえなくなるのに
ご主人様の子種
欲しがってる……っ♥
私のお腹が赤ちゃん
欲しがってる……っ♥


ドクッ
ビュッ
ビュッ
ドクッ
ご主人様っ…♥
ごしゅじんさまぁっ……っ♥
おぉおぉおぉ♥
ビクッ
はぁ〜っ♥
ぐぐっ♥
ビクンッ
はぁ〜っ♥
ぐぐっ♥























































































